

第二十三回 帝國議會 兩院協議會議事速記錄第一號

(刑法改正案)

明治四十年三月二十三日(土曜日)午前十時三十分開會

貴族院協議委員

議長 侯爵 黑田 長成君
副議長 子爵 酒井 忠亮君

衆議院協議委員

議長 磯部 四郎君
副議長 谷澤 龍藏君

元田 肇君 大岡 育造君 立川 雲平君 關 直彦君 望月 長夫君 大戸 復三郎君 奧田 義人君 花井 卓藏君

(抽籤ニ依リ磯部四郎君議長席ニ著ク)

○議長(磯部四郎君) ソレデハ是ヨリ開會致シマス、問題ハ四十三條カラデス

○元田肇君 逐條ニ付イテ討論ヲ始メルト云フ順序ニナラナケレバナリト思ヒマス

○議長(磯部四郎君) 是ハ如何デゴザイマセウ、双方デ議論ノナイトコロハ各章ニ就イテモ行クコトニシマス

○谷澤龍藏君 是ハ前例ニ依リマス、逐條ニ行カナケレバナラヌカモ知レマセヌガ、此案ハ是マデ筆記録ニモ記載シテアリマス、餘リ無用ノコトヲ主張スル必要モナカラウカト思ヒマス、固ヨリ協議會デアリマス、私ノ考デハ兩院四名、若クハ三名ヅ、ノ委員ヲ出シテ協議ノ上デ、更ニ又本會ニ諮ルト云フコトニ致シタト思ヒマス

○議長(磯部四郎君) 先ヅ此中カラ少數ノ三名ナリ、四名ナリノ委員ヲ双方カラ出シテ、御協議ヲ仰グト云フコトニシタイ、斯ウ云フ說デアリマスガ、人數ハ何名デスカ

○谷澤龍藏君 先ヅ三名カ、四名ガ宜カラウト思ヒマス

兩院協議會議事速記錄第一號 明治四十年三月二十三日 刑法改正案

○花井卓藏君 私ハ貴族院ニ於テ主張セラル、理由、本院ニ於テ主張致シマスル理由ハ、各修正ノ條項ヲ逐ウテ一應ノ說明ハアッテ然ルベキコト、思フ、又聽イテ然ルベキコト、存シマス、唯今谷澤君ノ御論モアリマス、然レドモ、刑法典ト云フ大イナル法典ノ修正デゴザイマス、兩々主張ノ異ナル點ニ於キマシテ、其異同ヲ詳ニセズシテ、直チニ交渉委員ヲ設ケテ決定スルコトハ、誠ニ遺憾ニ堪エヌノデアル、殊ニ四十三條ノ修正ノ如キハ、刑法全骸ニ貫通スベキ主義ノ爭デアリマス、上院ニ於テ主張セラル、點ヲ速記録ニ依ッテ拜見致シマシタコロデハ、本員ナドハ毫モ敬服ノ意ヲ表スルコトガ出來ナイノデアリマス、更ニ詳ニ之ヲ拜聽致シマス、或ハ、得ルトコロハアカハ知レマセヌケレドモ、アレデ議論ガ盡キテ居ルトハ信ジマセヌ、甚ダ遺憾ニ存シマス、ルカラシテ、ヤハリ從來此協議會ニ於テ履マレテ居ルダケノ慣例順序ヲ逐ヒマシテ——慣例ヲ逐ヒマシテ一應ノ說明ヲ承ラナケレバ、吾々ハ何レニ贊成シ、何レニ反對シテ宜シキヤ、實ハ贊否ノ標準モ取レナイ譯デゴザイマス、サウシマス、谷澤君ノ今ノ交渉委員ヲ設クルト云フ說ニ贊成ガアリマス

○大戸復三郎君 贊成シマス

○元田肇君 私ハ一應ノ說明ヲ求メタイト云フ說ガアレバ、ソレヲ遮ッデドコマデモ交渉委員ヲ選ムト云フ程ニ熱心デハアリマセヌ

○富井政章君 ソレデハ私ヨリ簡單ニ不同意ノ理由ヲ述ベタイト思フ、貴族院ニ於テ原案ニ修正ヲ加フルコトニナリマシタ理由ハ、昨今花井君ガ述ベラレマシタ通り速記録ニ載ッテ居リマス、デアリマスガ、詳シキコトヲ述ベル必要ハナカラウト思ヒマス、又實際ハ諸君ニ於テ十分御承知ノコトデアルト確信シテ居ルノデアリマス、是ハ寧ろ形式上ノ必要ニ出タコト、心得ルノデアリマス、ソレ故ニ極ク簡單ニ述ベヤウト思ヒマス、而シテ述ベ方ハ條文ノ順序ニ從ッテ行クコトガ穩デアラウト思ヒマス、其方法ヲ採リマス、第一ハ御說ノ通り第四十三條デアリマス、第二條以下ノ修正ハ是ハ官吏侮辱罪ニ關スル規定ヲ削除サレタ結果ニ過ギナイノデアリマス、說明スル必要ハ無カラウト思ヒマス、第四十三條即チ未遂罪ニ關スル規定デアリマスガ、貴族院ニ於テ當然「減輕ス」トアッタノヲ「減輕ス」コトヲ得「ト」云フコトニ修正ニナリマシタ理由ハ、速記録ニモ載ッテ居リマス、要スルニ未遂罪ノ中ニハ既遂罪ニ讓ラナイ程情ノ重イモノガ澤山アル、云フコトニ歸スルノデアリマス、成程偶然ニ生ジタ結果カラ云ヘバ、イツモ既遂罪ヨリハ多少輕イヤウニ見エマスケレドモ、外形ノ結果バカリデナイ、社會ニ害ヲ生ゼシメントシタ犯人ノ意思カラ、社會ノ害ト云フモノヲ測算スルトキハ、偶々結果ノ一小部分ガ生ジナカッタト云フダケデ、其罪ガ輕イト云フコトハナイト本員等ハ堅ク信ズルノデアリマス、要スルニ未遂罪ノ重サハ、既遂罪ニ少シモ讓ラナイ場合ガ澤山アルト云フコトニ歸スルノデアリマス、ソレモ此改正案ニ於ケル減輕ノ程度ガ多數ノ立法例ニ於ケルガ如ク、四分ノ一トカ云フコトニナッテ居レバマダ宜シイノデアリマス、當然減輕スデモ、格別エライ減輕ニナラヌノデアリマスケレ

ドモ、御覽ノ通り此案ニ於テハ減輕ノ割合ト云フモノハ——分量ト云フモノハ半分ニナルノデアリマス、未遂罪ト云フモノハ既遂罪ニ讓ラナイ程犯狀ノ重イ場合ガアルニモ拘ラズ、常ニ半分マテ減輕スルト云フコトハ、空ノ理論デモ何デモナイ、斯ウ云フ一種ノ學說ヲ主張スルデモ何デモナイ、實際論トシテ甚ダ宜シキヲ得ナイコトデアラウト吾々ハ考ヘタノデアリマス、尤モ佛蘭西刑法ニ於ケル如ク重罪未遂ノ刑ハ既遂ト同一ニスル、必ズ既遂ト同シヤウニ罰スルト云フコトハ酷ニ過ギテ正當デナイト思ヒマス、少シク裁判官ヲ信用シ過ギル弊ハアルカモ知レマセヌガ、此裁量ハ裁判官ニ任シテ犯情ニ依ッテ、ドチラニデモナルヤウニスルガ穩當デアラウト考ヘル、ソレカラ第五十八條デアリマシタカ、再犯ニ關スル規定ハ衆議院ニ於テ修正セラレマシタ、是ハ格別重大ナル修正デハナイト思ヒマスガ、詰リ貴族院ニ於テ原案ノ方ガ宜カラウト考ヘマシタ理由ハ、初犯ノ事實ガアッタト云フコトハ、多クハ監獄ニ於テ發見セラレルデアリマス——在獄中ニ發見セラレル場合ガ甚ダ多イ、ソレ故ニ五十八條第一項ノ規定ハ甚ダ必要アルト思ヒマス、併ナガラ刑ノ執行ヲ終ッタトカ、或ハ刑ノ執行ノ免除ヲ得タト云フヤウナ場合ニハ、裁判ナクモ其前ニ發見シタト云フデケデ、再犯加重ヲ行フト云フコトハ少シク酷ニ過ギテ穩當デナカラウト考ヘマス、修正案ニ依レバ唯發見デケデ宜シイト云フコトニナリマスカラ、少シ重クナル譯デアリマス、是ハソレ程ニシナクテモ宜カラウト云フデケケコトデアリマス、初メ申上ゲマシタ通、是ハ格別重大ナル點デナカラウト思フ、一々各事柄ニ付イテ御質問ガアレバ應ズルコトガ至當カト思フノデアリマスケレドモ、立チマシタ序ニ簡單ニ皆述ベテシマッデハ如何デゾイマシヤウ、未遂罪ニ付イテノ質問ハレタノデアルカ、或ハ總テノ點ニ付イテ何故ニ同意シナカッタノデアルカト云フ御質問デアッタカ、ソコハ少シク能ク分ラナカッタノデアリマスガ、若シ未遂罪ニ付イテノ御質問デアッタシテモ、此際極ク簡單ニ述ベテシマッデモ宜シウゴザイマスカ(ドウカ願ヒマス)ト呼フ者アリ)ソレデ第三ハ内亂罪ニ關スル刑ヲ無期禁錮ノ一ニ限ラレタコトデアル、即チ死刑ト云フ刑ヲ削除セラレタコトデアル、是ハ減多ニ生ズル事實デナイト云フ點ニ於テハ格別重イ事柄デナイト思フノデアリマスケレドモ、万々一ニモ生ジタト云フ場合ハ、ドウシテモ死刑ト云フ刑ガ定メラレタナクテハ困ルト思フ、成程此國事犯ト云フモノハ數十年來ノ立法ノ趨勢ニ於テハ、破廉耻罪デナイトカラ、成ルベク輕ク罰スルト云フコトニナッテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ此案ニ規定シテアルトコロノ内亂罪ト云フモノハ、列國デ謂フヤウナ國事犯ト同一視スルコトハ出來ナイト思ヒマス、我建國以來ノ國體上カラ考ヘテモ、決シテ外國ニアルヤウナ單純ナル性質ノ犯罪デナイ、同時ニ皇室ニ對スル最モ重イ罪トモ見ルコトガ出來ルノデアリマス、ソレ故ニ他ノ規定トノ權衡上カラ考ヘテモ死刑ト云フモノハ、ドウシテモ存シテ置カナケレバナラス、死刑ト云フモノハ總テノ場合ニ付イテ廢スルナラバ、一ツノ問題デアラウト思ヒマス、苟モ死刑ト云フモノヲ刑法ニ存スル以上ハ此場合ニ付イテ之ヲ除クト云フコトハ、甚ダ同意ヲ表シ兼ネルコトデアリマス、ソレデ此規定ト最初ニ申上ゲマシタ第四十三條ノ修正ニハ、吾々ハ絶對的ニ同意致シ兼ネルノデアリマス、此刑法案ノ法律トナルコトハ、御互ニ熱心ニ希望スルトコロデアリマスケレドモ、此二點ノ如キハ其事柄ノ重キヨリシテ、尙一ツハ本院ニ於テ先ニ十分討議ヲ盡シタ末、院議トシテ極リマシタ事柄デモアリ、最モ重キヲ措イテ居ル事柄デアリマスカラ、ドウ考ヘテモ同意スルコトガ出來ナイ事柄デアリマス、其次ハ何條デアリマシタカ、官吏侮辱罪ニ關

スル規定デアリマス——九十六條、是ハ詰リ見方ニ依ッテ人々意見ヲ異ニスルカハ知リマセヌガ、苟モ行政ノ秩序規則ト云フモノヲ保タンナラヌト云フ必要ヲ認ムル以上ハ、官吏ト云フモノハ即チ公權ヲ執行スルトコロノ人ト云フモノハ、ドウシテモ常人ト同一ニ見ルコトハ出來ナイ、普通ノ誹毀罪、即チ事實ノ有無ニ關シナイ普通ノ誹毀罪ト云フモノヲ勾留科料ニカナッテ居ナイ、公權ヲ執行スル官吏ノ面前ニ於テ之ヲ侮辱スルト云フコトハ、行政秩序ノ維持ト云フ方カラ考ヘテ、甚ダ好マシクナイコト考ヘマス、是ニモ貴族院ハ最モ重キヲ置イテ反對ヲ表スル譯デアリマス、ソレカラ其次ハ騷擾ノ罪、第八八條、是ハ原案ニ依レバ、唯一回デモ宜イ、解散ノ命令ヲ受ケルコトガ、唯一回デモ宜イノデアッタガ、三回以上ニ及バンナラヌト云フコトニナッタ、是ハ詰リドウ規定シテアッデモ手心ノ問題デアッデ、幾回デモ極ク貫徹シナイヤウナ命令ノ下シ方ヲスレバ、ヤハリ其政治ノ仕方ガ詰リ宜クナイノデアリマス、人ガ惡ルケレバドシナ良イ法律デモ良ク行ハレナイ、サウ云フ場合ニモ檢舉スルト云フコトハ、詰リ行政司法ノ職權ヲ行フトコロノ人ガ惡ルイ、實際ニ於テ内亂ヲ防グト云フコトヲ務ムレバ宜シイ、唯三回トシタトコロデ續ケサマニヤレバ一回モ同シヤウナコトデ、又一回デアッタカ三回デアッタカト云フヤウナ點ニ於テ事實ノ爭ガ起ッデモ宜シクナイト云フヤウナ考カラシテ、同意致シ兼ネルノデアリマスガ、併シ是モ甚シク重キヲ置クト云フ程ノ事柄デアリマセヌ、ソレカラ溢水ニ關スル罪ト云フ所デ、百二十條ニ修正ガアリマス、是ハ少シ實質上變ルコトニナラウト思ヒマス、是モ原案ヨリモ重クナルト思フノデアリマス、成程軀裁上カラ言ヘバ、因テ人ヲ死ニ致シタト云フヤウナコトガアルヨリハ、死刑無期又ハ云々ト書イタ方が體裁上ハ固ヨリ宜イノデアル、併ナガラ人ヲ死ニ致サナイ場合ニマデモ、死刑ニ處スルト云フコトハ重キニ失シテ面白クナイト云フ考ヨリシテ、同意ヲ表シ兼ネルノデアリマス、是ハ實質上ハ原案ノ方ガ宜イト思フ、唯頻繁ニ生ズル事實デナク、極メテ稀ニ生ズル事實デアリマスカラ、サウ云フ點ヨリシテ、サマデ大キナ問題デナイトモ見ラレルト思フノデアリマス、サウ云フ點ヨリシテ一箇ノ如キハサマデ大キナ點トハ思ウテ居ナイ、ソレカラ百二十一條ト、百二十二條ニ於テ「因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者ニ付」トアリマスガ、是ハ放火ノ所ニモ同シ文字ガアルヤウデアリマス、定メテソレト權衡ヲ得ルタメニ置カレタコト、察シマスガ、放火ノ場合ニ於テモ斯ノ如キ文字ガ、或ハ必要デナイトカト思フ、殊ニ溢水罪ナドニ付イテハ此處ニ規定シテアルヤウナ一種ノ事實ソレ自身ガ、公共ノ危險ヲ生ズルモノト見ルベキ事實デアリマス、ソレデ特ニ斯ウ云フコトガ無クテモ宜カラウト考ヘルノデアリマスケレドモ、此修正ヲ加ヘラレタコトニ付イテモ固ヨリ理由ハアルト云フコトハ認メマス、ソレカラ第三百二十四條ノ「故ナク」ト云フ言葉ガ這入ッタ、是ハ此言葉ガ無ケレバ解釋上ドウナルカト云フコトニ付イテハ、或ハ人々意見ヲ異ニスルカモ知レマセヌガ、私等ノ解スルトコロニ依レバ、機密漏泄罪ノ初百三十四條ニ「故ナク」ト云フ大キナ冠ガ置イテアリマスカラ、ソレデ自ラ此罪ノ性質ト云フモノガ極デ居ル、次ノ條ニ於テ一々サウ云フコトヲ言ハナクテモ、自ラ同一ノ結果ニナルダラウト考ヘタノデアリマス、併ナガラ是モ詰リ事ヲ明ニスルタメ其趣意ニ變更ヲ生ズルコトデナイト思ヒマスカラ、是モ決シテ重大ナル點トハ考ヘナイノデアリマス、ソレカラ誹毀罪ノトコロノ二百二十三條、是ハ其但書ヲ削ラレタノデアリマスガ、此但書ト云フモノハ、詰リ官吏侮辱罪ト云フモノヲ規定スルコトニナッタ以上ハ、當然ノ結果トハ申サナイノデアリマス

が、其規定ノ適用ヲ全カラシムルタメニ必要デアラウト思フ、詰リ行政ノ尊嚴獨立秩序ト云フヤウナモノヲ保ツニハ、ドウシテモ必要デアラウト思フ、直接ニ侮辱ヲ受ケタ官吏自身ガ告訴ヲナスト云フコトハ、實際ニ於テ行ハレ難イ場合モアラウト思ヒマス、ソレ故ニ其行政ヲ總轄スルトコロノ上司ノ請求ニ依ッテ、侮辱罪ノ規定ガ始メテ全キヲ得ルコトニナルノデアリマスカラ、是モ甚ダ必要デアラウト考ヘマス、以上述べタゲガ衆議院ニ於テ修正セラレタ點、且貴族院ニ於テ同意ヲ表スルコトヲ得ナシテ、其理由ニハ固ヨリ輕重ガアル、事柄ニ輕重ガアルニ依ッテ、理由ニモ輕重ガアルノデアリマスガ、併ナガラ同意ヲ致シ兼ネタト云フ點ハ、一ツデアリマス、至ッテ簡單ナ御答デアリマスケレドモ、是ハ初メニ申上ケタ通り、寧ろ形式上ノ必要ト考ヘマス、是等ハ既ニ十分御承知ノコトデアルト信ジテ居リマス

○花井卓藏君 意見ヲ述ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長(磯部四郎君) 宜シウゴザイマス

○花井卓藏君 富井君ノ御説明ハ一應拜聴致シマシタガ、自分共ノ見ルトコロハ、全ク富井君ノ申サル、トコロト違フノデゴザイマス、衆議院ニ於テハ貴族院ニ於テ幾多ノ修正ヲ加ヘラレタル點ニ關シテ、多數ノモノハ同意ヲ致シテ居ルト云フ事實ニ徴サレマシテモ、如何ニ衆議院ヨリ提出致シマシタル修正案ノ維持ニ努メナケレバナライ理由ノ存在スルカノ御諒承ハ願ハシムルナラヌト思ヒマス、第四十三條ニ關スル御説ヲ拜聴致シマシタルデアリマスガ、本員等ハ敬服シマセヌ、殊ニ此四十三條ニ付イテハ、飽マデモ前説ヲ固執シテ、政府案ノ通り復活セラレンコトヲ望ムノデアリマス、申上ケルマデモナク既遂犯ナルモノハ、犯罪ノ構成要件タル總テノ事實ノ發現シタルモノデゴザイマシテ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、犯罪ノ構成要件タル事實ノ完備シ、且到來シタル總テノ狀態ヲ指スベキモノデアリマスカラシテ、是ヲ犯罪發生ニ關スル希望ノ部分的發現ニ屬スベキ未遂犯ト同ジヤウニ、刑ヲ量定スルト云フ事柄ハ法律ガ既遂未遂ノ區別ヲ立テタル基礎ヲ無視スルモノデアラウト私ハ思フノデアリマス、刑ノ量定ハ危害ヲ標準トスルト云フノガ、學說ノ上ニ於テハ或ハ爭ガアルカ存ジマセヌケレドモ、改正刑法案ニ於キマシテハ基礎トナリ主義トナテ居ルノデス、即チ社會ノ被リタル危害ヲ標準トシテ、或ハ重ク罰シ、或ハ輕ク罰スルト云フ主義ハ、刑法ヲ一貫シタルトコロノ觀念デアラウト私ハ考ヘル、而シテ犯罪事實ノ總テノ發現狀態ヲ指スベキ既遂犯ト、希望ノ部分的發現ニノ止マルベキ未遂犯トヲ同視シテ、同ジキ性質ニ見ルト云フ事柄ハ餘リニ突飛デハアルマイカト思フノデアリマス、富井君ノ御説ハ未遂ト雖モ既遂ニ讓ラザルモノガアルト、斯ウ云フノデアル、速記録ニ依ッテ見ルト二三ノ例ガ示サレテアル、併ナガラソレハ極メテ極端ナル例デアッテ、多數ノ場合ノ御想像ヲ願ヒマシタナラバ、既遂犯未遂犯交、相讓ラザルモノガ幾許アルヤ否ヤト云フコトハ、直チニ理解シ得ラルベキ事柄デアラウト思ヒマス、數十條、數百條ノ立法ヲナスニ當リマシテ、二三ノ極端ナル事例ト云フモノヲ想像スルコトハ考ヘナケレバナラス、故ニ想像セラレタル二三ノ極端ナル例ヲ以テ、多數ノ場合ノ例ヲ没却スルト云フ事柄ハ出來マイカト私ハ考ヘル、若シ又極端ニ二三ノ例ヲ想像セラレテ、未遂犯ヲ以テ既遂犯ト同様ナル刑ノ量定ヲナスト云フコトヲ以テ適實ナリト致シマシタナラ

バ、私ハヤハリ不能犯ヲ罰スルト云フ條、是ガ茲ニ現レテ來ネバナラヌト思フ、又望ムノデアリマス、不能犯現ハレ、而シテ彼ハ場合ニ依ッテハ減輕セラレ、或ハ免除セラレ、其上ニ中止犯ナルモノガアッテ彼ハ減輕セラレ、又其上ニ未遂犯ナルモノガアッテ、是ハ既遂犯ト同様ノ刑罰責任ヲ負フベキモノデアルト云フガ如キ、斯様ニ段階ヲ立テラレテ、初メテ富井君ノ説ハ意味ヲ爲スモノト思ヒマス、併ナガラ改正法案ニ於キマシテハ、不能犯ハ罰セヌト云フコトニナッテ居ル、而シテ中止犯ハ減輕又ハ免除スルト云フ事柄ニナッテ居ル、然ラバ其順序トシテ未遂犯ハ減輕、既遂犯ハ一般規定ノ下ニ支配ヲ受クルト云フ事柄ガ當然デアアルマイカト私ハ考ヘル、又未遂犯ヲ既遂犯ト同様ニ見ルト云フ御説ハ、主義ノ上ニ於テ改正刑法ニ副フヤ否ヤト云フ事柄ヲ、本員ハ甚ダ疑フノデアリマス、勿論未遂犯ト雖モ結果ヲ發生セシメ、又ハ結果ヲ防止サセルトコロノ意思ノ實行タルコトハ疑ハゴザイマセヌ、併ナガラ其結果ト云フモノハ遂ニ發生シナカッタデアアル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ未遂犯ノ實質ハ犯意ニ依ッテ豫想セラレタル結果ノ實現セザルモノデアリマスカラ、之ヲ主觀主義カラ觀察ヲ致シマスレバ、既ニ意思ノ實行ガアリ、又犯人自身ハ危險ノ性質ヲ有スルモノデアアル、サスレバ之ヲ既遂犯ト同様ニ見ルト云フコトハ、毫モ差支ガナイデアラウ、主觀的ニ見タナラバ毫モ差支ガナイデアラウ、斯ウ云フ趣意ニ論ゼラル、ノデアルカ存ジマセヌケレドモ、併ナガラ本案ハ果シテ主觀主義ノ下ニ制定セラレタルモノナリヤ否ヤ、本員甚ダ疑フモノデアリマス、私ハ寧ろ前段ニ申上ケマシタル通、社會ノ被リタル危害ト云フ方ノ側、即チ客觀的ヨリ觀察致シマスル方ガ、本案ニ副フモノト信ズル、意思ノ實行ハ遮ラレテ、結果ハ實現シナカッタデアアル、社會ハ是ニ依ッテ何等ノ危害ヲ被ラナカッタデアリマス、斯ウ云フ點カラ觀察致シマシタナラバ、被ルベキ危害ノ寸尺ヲ取ッテ、長キモノハ長ク、短キモノハ短クト云フ標準ノ下ニ、危害ト責任トヲ定ムルノガ、即チ客觀主義ノ性質ヲ有スル本案ノ主義ナリト理解スルヲ以テ當然ナリト思フ、乃チ私ハ改正案ノ刑ノ量定ニ關スル規定ハ、寧ろ客觀觀察ニ重キヲ置イテ居ルモノデアルト信ズルノデアリマス、學者ハ全然此點ニ關シテ社會ノ危險ト云フモノハ標準トハシナイ、即チ客觀觀察ニ云フモノハ、全ク眼中ニ無イノデ、意思一方ノミヲ見ルト云フヤウナ、極端ナル論ヲ致シテ居ルモノモアリマスケレドモ、餘リ價ノアル論デアハ實ハナイノデアリマス、而シテ又改正刑法ハ其條文ノ上ニ於テ、如何ニ未遂犯ト云フモノヲ見テ居ルカト云ヘバ、寧ろ未遂犯ト云フモノハ或ル場合ニ於テノミヲ罰スベキモノデアルト規定シテ居ルノデアアル、原則トシテハ未遂犯ヲ罪セナイノデアアル、或ル場合ニ於テ初メテ之ヲ罰スベキモノトシテアル、即チ第四十四條ヲ御覽ニナッタナラバ直チニ分ル、未遂罪ヲ罰スル場合ハ各本條ニ於テ之ヲ定ムト規定サレテアル、是ニ由テ之ヲ觀マシレバ未遂犯ニ關スル立法者ノ主義ト云フモノハ、主觀觀察ニアラズシテ客觀觀察デアルト云フ事柄ハ、類推スルニ難カラズデス、而シテ各本條ニ參リマシテモ未遂犯ノ罰セラルベキモノハ、或ハ皇室犯デアルトカ、或ハ國事犯デアルトカ云フモノニ限定サレテ居ルデアリマセヌカ、其他ソレヨリ輕キ罪ニ於キマシテハ、各本條ニ於テ或ハ之ヲ罰シ、或ハ之ヲ罰セヌト云フ事柄ニナッテ居ルノデアリマス、即チ未遂犯ヲ以テ既遂犯ト同様ノ標準ニ率ヲ取ルベキモノデナイ、ト云フコトガ示サレテアル、故ニ富井君ノ申シマスル如ク、未遂犯ニシテ既遂犯ニ讓ラザルモノモアルカラシテ、同一刑責ノ率ヲ採ルベキモノデアルト云フ説ハ、確ニ刑法全體ニ互

レル立法者ノ未遂犯ヲ觀察スル方針トハ、異テ居ルモノデハナイカト自分ハ信ジテ居ル
ノデアリマス、又自分共ノ信ズルところニ依レバ、所謂行爲ノ未遂アルトカ、豫備アル
トカ云フモノニ對シテ、既遂ノ刑ヲ科スル、若クハ又獨立罪トシテ特別ノ刑ヲ科スル
フコトハ立法上ノ例外アルト私ハ信ジテ居ル、即チ既遂犯ヲ罰スルハ原則ナリト雖モ、
未遂犯ヲ以テ既遂犯同様ノ刑責ヲ科スルコトハ、刑事立法上ノ例外アルト私
ハ信ズルノデアル、唯今モ私が申上ゲマシタルガ如ク、皇室犯アルトカ、國事犯アルトカ
云フモノニ關シマシテハ、未遂ヲ罰シ、豫備ヲ罰シマスガ、是ハ一ノ立法上ノ例外デア
テ、原則デハ決シテナインデアリマス、故ニ名ハ未遂犯ナリト雖モ、ソレガ即チ既遂犯ナ
アル、名ハ豫備ト云フト雖モ、法律ノ眼ニ映ズル點ニ於テハ、ソレガ即チ既遂犯デア
ス、若シ此様ノ例外ヲ以テ原則ト致スト云フ事柄ニナリマシタナラバ、理論上ニ於テ未
遂犯ト名ツケラレタル既遂犯ノ未遂アルコトヲ認メナケレバナラヌ、豫備ト名ツケラレタル
既遂犯ノ未遂、或ニ豫備アルコトヲ想像シナケレバナラヌ、ソレハ學術上ノ爭ト致シマシ
タナラバ一種ノ趣味ガアルカハ存シマセヌケレドモ、私ハ實際ニ於テ斯ノ如キ點ニマデ論
歩ヲ進ムルヲ好マナイ、理論トシテモ、左様ニマデ論歩ヲ進ムベキ必要ハ私ハアルマイ
思ヒマス、要スルニ立法上ノ變例ヲ、刑法ノ總則ノ上ニ掲ゲテ、原則ト致スト云フ事柄
ニセラル、修正ニ係ルノデゴザリマスカラシテ、ドウモ本法制定ノ根本議ニ於テ本員等ハ
敬服ヲ致シ兼ネルノデアリマス、又改正案ハ刑罰規定ノ上ニ最も多ク裁判主義ガ用井
レタル、即チ全篇通ジテ裁判主義ト云フモノ宜イ位デアリマス、刑ノ範圍——廣キ刑
ノ範圍ヲ量定スル權能ト云フモノハ、悉ク授ケラレテ裁判官ニアルノデアル、是ハ進歩シ
タル刑法ノ觀念ニ於テ、已ムヲ得ザルモノデアッテ本員等モ勿論異議ハゴザイマセヌ、或
ル程度マデ裁判主義ヲ用井ルコト云フ事柄ハ固ヨリ異論ハナイ、併ナガラ此裁判主義ト云
フモノハ、例ヘバ十年以下ノ刑ニ處スル、若クハ五年以下ノ刑ニ處スルコト云フ範圍ニ於
テ、刑ヲ量定スル裁判主義ガ授ケラレタルノデゴザリマシテ、即チ處罰規定ノ上ニ於テ
盛ラレテ居ル刑ノ範圍ヲ量定スル裁判主義ニ外ナラヌノデゴザイマセヌ、裁判主義ハ是
丈十分デアリマス、四十三條ノ如ク原則的ニ裁判主義ヲ應用セシムルハ、私ハ甚ダ
喜ブベキ事柄ニアラズト信ズルノデアリマス、刑ノ量定ダケヲ以テ裁判主義ノ應用ハ足レ
リトス、原則ヲ以テ裁判主義ヲ是認セシムルコト云フ上院ノ修正ハ、進ミタル刑事法ノ學
理ニアラズト本員等ハ固ク信ジテ居リマス、加之未遂、既遂ト云フモノノ分界ト云フモノ
ヲ區別スルコト云フコトハ、理窟ノ上ニ於テハ出來ルデゴザイマセウケレドモ、實際ノ上ニ於
テハ甚ダ困難デアリマス、舉證上極メテ困難アルト思フノデアリマス、未遂ナル現象ト既
遂ナル現象トノ距離ト云フモノガ、ナカク分別ノ付クベキモノデハナイト思フ、要スルニ
此裁判主義ノ範圍ヲ總則ノ原則ニマデ推及シテ、裁判官ニ授ケルコト云フコトハ、私ハ危
險アルト信ズルノデアル、裁判官ヲ信ズルコトシテモ危險アルト想像スルヲ以テ、立法者
ノ能事ナリト私ハ信ズルノデアル、裁判官ヲ信ズル點ニ於テハ、刑ノ範圍内ノ量定權ニ
於テ裁判主義ヲ採用スレバ可ナリ、立法者ノ立場トシテハ、原則トシテ斯ノ如キ未遂ノ
現象既遂ノ現象並ニ其距離遠近ヲ測定セシメ、ソレニ應ジテ而シテ或ハ減輕シ或ハ減
輕セズト云フヤウナ標準ヲ立シメルコト云フ事柄ハ憂フベキコトデアル、立法者ガ裁判官
ヲ憂フルノ一二數ヘテ當然ナル次第デアラウト自分ハ確信ヲ致スノデアリマス、而シテ原

則ニ於ケル裁判主義ヲ採用スルコト云フコトハ、或ル意味ニ於テ裁判官ニ不文ノ立法權
ヲ授クルト同ジコトデアラウ、裁判官ニ不文ノ立法權アルコトヲ認ムルト同一ノ結論ヲ生
ゼシムルト私ハ信ズルノデアリマス、ソレ故ニ現行法并ニ改正案ニ於テ、極メテ刑罰ノ權
衡ヲ犯罪事實ニ對照シテ保ツコトニ努メラレテ、既遂ノ犯罪未遂ノ犯罪ト云フモノハ、
兩兩區別アルモノデアル、未遂犯ハ必ズ減輕セラルベキモノデアルト云フノ規定ヲセラレ
ノハ、刑事上ノ理論ト致シマシテモ、裁判上ノ應用ト致シマシテモ、刑事政策ノ理由
ト致シマシテモ、最も適當ナルモノデアルト信ズルノデアリマス、富井君自身ノ御紹介ニ相
成リマシタル如ク、兩者ノ區別ナク既遂犯、未遂犯ヲ一括シテ、供ニ俱ニ之ヲ同一ニ罰
スルコト云フガ如キ規定ヲ爲シテ居ルノハ、自分ノ調査致シマシタルコロニ於キマシテハ、佛
蘭西ノ外ニハナイ、此點ハ調査會ニ於テモ御主張ニナリマシタケレドモ、感服シマセヌ、今
外國ノ立法例ヲ對照致シテ見マシタケレドモ、未嘗テ貴族院ニ於テ修正セラレタルガ
如キ、未遂犯モ既遂犯モ、場合ニ依ッテ同一ノ處罰ヲ受ケナケレバナラヌ規定アルコト
ヲ承知仕リマセヌ、不敏ニシテ承知仕リマセヌ、御承知ノ如ク刑法ハ一國ノ刑法ニ違
ハゴザイマセヌケレドモ、民法ノソレト同ジク、商法ノソレト同ジク、文明邦國ノ刑法ト並
ビ立チテ耻カシカラヌ一貫シタル主義理想ト云フモノハ追ハネバナラヌト思フ、凡テノ法律
ハ國際間同一ノ關係ニ近ヅイテ居ッテ、各國其軌ヲ同ジクスルコト云フ情勢ニ立至ッテ居
ル今日ニ當リマシテ、好シデ——言ッテハ恐入リマスカレドモ、主張アリテノコトニハ相
違ゴザイマセヌマケレドモ「ルコトヲ得」ト云フ事柄ヲ加ヘラレテ、サウシテ場合ニ依ッテ未
遂、既遂ノ區別ハ刑罰責任ノ上ニ於テハ甲乙ナシト云フ主義ヲ取ラル、ト云フ事柄ハ、
本員等ノ甚ダ感服トコロデアルノデアリマス、本條ハ此協議會ニ於テ、或ハ重大ナル問題
ニナルコトデアラウト存ジマスカラシテ、聊カ要ヲ摘シテ本員ノ主張ダケヲ申述ベテ置ク
デアリマス、富井君ノ申サレマシタ通、若シ此點ニ關シテ質問等ガゴザイマシタナラバ、本
員ハ十分ニ御答ヲ致ス積リデアリマス

○議長(磯部四郎君) 如何デセウ、四十三條ニ付イテ今花井君カラノ御議論ガゴザ
イマシタガ、アナタノ御考ハ總テ富井君ノ御提出ニナッテ各條ニ付イテ、御意見ヲ御述ニ
ナル御積リデスカ

○花井卓藏君 イザレデモ宜イデス

○大岡育造君 大體花井君カラ述ベラレテ、然ル後ニ一條ヅ、開ク方ガ宜カラウト
思ヒマス

○議長(磯部四郎君) ソレデハ花井君ハ簡單ニ……

○花井卓藏君 次ハ五十八條デス、同條ニ關シマシテハ、條文ノ修正セラレテ居ル通り
ヲ以テ適當ナリト信ズルコト云フ外ニハ、別段ニ議論ヲ要スベキ問題デハゴザイマセヌカラ、
原案ヨリハ斯ノ如ク修正致シマシタ方ガ、ハッキリシテ且便宜デアルト云フニ外ナラヌノデ
アリマス、便宜ト云フ事柄ハ本條ヲ運用スル上ニ於テ最も大切デアルト云フ事柄ヲ御領
承ヲ願ヘバ宜シイノデアル、要スルニ五十八條修正ノ理由ハ便宜ニ基キタルモノデアル、而
シテ便宜ニアラザレバ運用シ難キ條文ノ性質デアルト云フ事柄ヲ申上ゲテ置ケバ盡セリデ
ゴザイマス、次ハ七十七條ノ内亂ニ關スル死刑ノ削除デアリマス、是モ本員ニ於テ固執シ
テ動かザルトコロノ、重大問題デアルノデアリマス、國事犯人ニ死刑ヲ科スルノ當否ト云

フコトハ、是ハ未遂犯ノ問題ドコロデハナイ、熟シ切テ居ル論デゴザイマスカラ、仔細ニ申上テル必要ハゴザイマセヌ、併ナガラ既ニ刑デゴザイマスル以上ハ――刑罰デゴザイマスル以上ハ、犯人ハ科セラレテ刑ニ於テ如何ナル感想ヲ懷クヤト云フコトダケハ、注意ヲ拂ハナケレバナルマイト思フ、國事犯ノ犯ス者ハ常ニ必ズ死ヲ決シテ居ルノデアル、斯ノ如キ者ニ對シマシテ死刑ヲ宣告スルモ、彼ハ豫期ノ通――豫期ノ彼岸ニ到著シタルモノト心得テ居ル、死刑ノ宣告ニ依テ彼等ハ威嚇セラレタトハ、信シナイ從テ之ニ依テ已ノ素志ヲ翻スベキ觀念ヲ生ズルモノデアリマセヌ、又之ヲ見テ國事犯ノ犯シタナラバ死刑ニ處セラル、憂ガアルカラシテ、己ハ犯サナイト云フ觀念ヲ懷ク一般衆人モ無イノデアリマスカラ、特別豫防ノ上ニ於テハ、死處ヲ得タリト犯人自身ガ感シ、一般豫防ノ上カラ見タナラバ、願クハ彼ニ倣ッテ鼎鑊甘キコト給ノ如シト云フ歴史ヲ繰返シタイト云フノデアリマスカラ、特別豫防ノ主義モ貫ケズ、一般豫防ノ主義モ貫ケヌノデアル、故ニ私ハ刑罰ノ觀念ノ理論、實際ノ上カラ見テ死刑ナル刑ヲ適用スルヨリハ、寧ろ長期ノ自由刑ヲ以テ之ニ代ヘテ、苦痛ノ間ニ懲戒並ニ反省ヲ促スヲ以テ刑事法ノ原理ニ適フモノト信ズルノデアリマス、而シテ國事犯人ノ心事ノ上カラ議論ヲ立テ、參リマスレバ、彼等ハ其意此犯罪ニ依テ自家ノ口腹私慾ヲ充タサントスルモノデハナイノデアル、己ノ信ズル所ハ國ノ福利安寧ト云フモノヲ増進スルコト云フ考ニ於テ、企テラル、トコロノ犯罪デアルノデアリマス、犯人自身ハ身ヲ殺シテ仁ヲ爲スノダト言テ居ルノデアリマス、私ハ犯罪ニ貴賤優劣ノ差ハ勿論ナイト思ヒマスケレドモ、併ナガラ極メテ高尚ナル犯罪デアルテ、敬愛スベキ犯罪デアルト云フコトダケハ、國事犯ニ於テハ認メネバナラヌト思ヒマス、斯ノ如キ犯人ヲ以テ普通犯人ト同様ニ待遇スルコト云フコトハ、刑事法ノ要求スル本則デハアルマイト信ズルノデアリマス、罪ハ罪ナリ、斯様ナ觀察ヲサレマシタナラバ、國事犯モ犯罪、普通犯罪モ犯罪ナリト云フ論ハ立チマセウケレドモ、一般刑法ノ上カラ讀シテ解釋ヲ立テマシタナラバ、或ハ或ル種ノ犯罪ニ付イテハ必ズ懲役ニ處スル、或ル種ノ犯罪ニ付イテハ禁錮ニシテ足レリ、或ル種ノ犯罪ニ對シテハ、執行猶豫ノ恩典ヲ授クル――凡ソ刑法ノ上ニ於テ高尚ナル犯罪、敬愛スベキ犯罪、憎ムベキ犯罪ト云フモノハゴザイマスマイケレドモ、所謂敬愛スベカラザル犯罪、高尚ナラザル犯罪トノ間ニハ、自然ニ一ノ分界線ガ立テラレテ、刑罰責任ニ寬嚴ノ差アル方針ヲ探テ居ルト云フ事柄ハ明ニ見得ラル、ノデアル、普通犯罪ニ於テ此觀察ヲ刑法ガ有テ居リマス以上ハ、國事犯罪ニ於テモ同様ナル觀察ヲ執ラナケレバナルマイト思フ、而シテ重キ罪ニ於テ強盜、竊盜ノ如キ、普通犯罪、國事犯罪ノ如キ、高尚ニシテ敬愛スベキ犯罪ヲ區別シテ、國家並ニ法律ガ之ヲ待ツニ寬嚴ノ差ヲ以テスルト云フコトハ、當然ノコトデアラウト信シマス、又殺人デアルトカ、放火デアルトカ、或ハ強盜盜デアルトカ云フヤウナ普通犯罪ト云フモノハ、人類自然ノ生存ヲ害スルモノデゴザイマスルカラシテ、古今ヲ通シ、東西ニ涉テ犯罪タルコトハ疑ハナイ、所謂宇宙的犯罪デアル、世界的犯罪デアル、開ケザル原始時代ヨリ此觀念ト云フモノハ始終消ユルモノデハゴザイマセヌ、併ナガラ國事犯ノ如キニ至リマスレバ、是ハ畢竟人類ノ人爲的生存ニ伴フコロノ犯罪デアル、此國ニ於テ犯罪デアルデモ、彼國ニアル犯罪デアルデモ知レヌ、或ハ今日犯罪デアルモ明日ハ犯罪デアルイカモ知レヌ、即チ場所ト時代トニ依テ或ハ犯罪トナリ、或ハ犯罪トナラザル現象ヲ有スル性質ノモノデゴザイマスルカラシテ、放火、

殺人、強盜盜ノ如キ、宇宙一般ノ犯罪ト、地方的時代の犯罪ナル國事犯トノ間ニ、刑法ガ待ツニ異リタル刑罰ヲ以テスルコトハ當然ナリト私ハ信シマス、殊ニ我國ノ歴史ヲ繙イテ見マシタナラバ、國事犯ト云フモノニ對スル刑罰責任ハ、甚メ寬大ナル傾向ヲ示シテ居リマス、寧ろ之ヲ國家ガ優遇ヲスルコト云フ事蹟ヲ示シテ居ル、歷々トシテ示サレテ居ルノデアル、一々申上テル必要モゴザイマセヌカ、靖國神社ニ祀ラレタル、而シテ思召ニ依テ贈位ノ榮典ヲ授ケラレタル人々ノ中ニハ、其當時死刑ノ宣告ヲ受ケテ、斷頭機上ノ露ト消エタ刑事被告人ハ、多數ヲ占メテ居ルト云フコトハ、明確ナル事實デアル、殊ニ今日ノ聖代ニ於キマシテハ、西郷隆盛翁ノ如キハ立派ナル國事犯ヲ犯シタルモノデアル、併ナガラ早ク既ニ落命ヲシタルガ故ニ、捕ヘラレテ刑事ノ被告人トハナラナカッタケレドモ、其性質ノ國事犯タルコトハ疑ヲ容レヌノデアル朝廷ハ然ルモ拘ラズ正三位ノ位ヲ贈ラレ、遺族ハ侯爵ニ列セラレテ居ル、歴史ノ上ニ於テモ、現在ノ御取扱ノ上ニ於テモ、國事犯ニ對シテハ高尚ナル道義觀念ニ胚胎スベキ美シキ犯罪デアル、而シテ彼等ノ心事ニ一片ノ私ナク、國民民人ノ福利、安寧ヲ保全セントスルニ外ナラヌノデアル、身命ヲ犧牲ニ供シタル志士デアルト云フノ趣意ニ於テ、取扱ハレテ居ルノハ、我國ノ歴史ノ上ニ於テ、又今日ノ御取扱ノ上ニ於テ美シク且ツ喜バシキ寬大ナル現象ヲ示シテ居ルモノト私ハ思フノデアル、理論トシテハ前段ニ申上テ置キマシタガ、實際上ノ上ニ於キマシテモ此ノ通デアリマス、故ニ他國ニ於テ國事犯ニ死刑ヲ科スル立法例アリトシテモ、我國ニ於テハ、特ニ死刑ヲ科シテハナラナイト云フ因縁ヲ有シテ居ル、是ハ好キ證據ニナルデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、而シテ自分ノ見ルトコロニ依レバ朝鮮支那ノコトハ存シマセヌガ、凡ソ刑法典ノ備ハレル國ニ於キマシテハ、何レノ國ニ於キマシテモ國事犯ニ死刑ヲ科スル所ハゴザイマセヌ、本員ハ個人トシテ死刑廢止ヲ絶叫スルモノデアリマスケレドモ、今日死刑ノ廢止セラレザル以上ハ、セメテ國事犯ニ對シテダケニテモ、理論實際ニ適フヤウニ死刑ヲ廢止スルコト云フコトガ當然デアラウト信ズルノデアル、御承知ノ如ク獨逸ハ文明國中ニ於テ死刑存置ノ國デゴザイマスルケレドモ、ソレスラモ國事犯ノ死刑ト云フモノハ認メテ居ナイノデス、即チ世界何レノ所ニ於テモ國事犯ノ死刑ト云フモノハ無イノデゴザイマスカラシテ、私ハヤハリ改正刑法ハ文明ノ潮流ヲ趁ウテ、各國刑法ト同ジ氣運ニ向ハシメシコトヲ望ムノ切ナル、七十七條ノ死刑ヲ削ルト云フ事柄ハ適當ナル修正トシテ、上院諸君ノ同意ヲ得タイト云フ考デアリマス、ソレカラ次ハ第九十六條デゴザイマス、アトハ極ク短ウゴザイマス、是ハ衆議院ニ於キマシテハ一ノ歴史ガアルノデゴザイマシテ、第十六議會ニ於テ刑法改正案ガ院議ニ附セラル、ニ方リマシテ、特別調査委員會ニ於キマシテハ滿場一致ヲ以テ公務員侮辱罪、並ニ公務所侮辱罪ト云フモノハ廢止スベキモノナリト云フ意見ガ表明セラレタルノデアルデゴザイマス、富井君ノ御説ハ一私人ノ誹毀ノ例ヲ想像セラレテ一私人ニシテ尙且然リ、況ヤ公務員ニ於テ支配セラレザル道理ハアルマイト思フ左様ニ窮屈モノデハアルマイト私ハ信シテ居ル、私ノ見ルトコロニ依レバ、元來此公務員ノ侮辱罪ト、一私人ノ誹毀罪トヲ區別シテ規定セラレテ居ルト云フ事柄ガ抑々立法ノ體裁上ニ於テ宜キカ否カラ疑フ位デゴザイマス、加之今日ノ氣運ハ私ハ唯今申上テタル以前ニ於テ公務員侮辱罪、公務所侮辱罪ト云フモノハ之アリト雖モ、寧ろ罰セザル方針ニ我國ノ

總テノ法律ガ傾イテ居ルモノデアルト信ジマス、憲法ノ規定ヲ此所ニ引用シテ、言論自由ノ說ハ私ハ致シマセヌガ、例ヘバ裁判所構成法、民刑訴訟法ナドヲ繙イテ見マスト、裁判官ニ向テ忌避ノ申立ガ出來ル規定ニテ居リマス、其理由トスルトコロハ、當該裁判官ハ偏頗ノ裁判ヲスル、不公平ノ裁判ヲ爲スト云フ疑ガアルト云フノデ、即チ疑ダケデ忌避ノ申請ガ出來ルト云フコトニナツテ居ル、公機關ニ對スル言論ノ自由ガ如何ニ擴張セラレ保障セラレテ居ルカト云フコトガ分ル、而シテ結果ニ至ツテ偏頗ノ嫌ナシ、不公平ノ疑ナシト云フ決定ヲ受ケマシタコロデ、決シテ此申立ヲ爲シタルモノハ侮辱罪ニ問ハル、モノデハゴザイマセヌ、侮辱ノ罪多シト雖モ裁判官ニ向テ汝不公平ノ裁判ヲ爲サントセリ、汝偏頗ノ裁判ヲ爲スノ疑アリト言ハル、ホドノ侮辱ハアルマイト思フ、ソレデスラ法律ハ問ハナイ、罪トハシナイノデアアル、訴訟當事者ノ自由ナル權能トシテ授ケラレテアルノデアアル、權利トシテ授ケラレテアルノデアアルマス、又はハ餘リ大キナ例デハゴザイマスケレドモ、憲法、議院法ノ規定スルトコロニ依ツタナラバ、國務大臣ニ對シテ非違ヲ指摘シテ是ガ彈劾ヲスルト云フコトモ出來ルノデアアルマス、彈劾ノ上奏文ヲ上ルト云フ機能モ授ケラレテアル、公ナル機關多シト雖モ内閣ホド大ナル機關ハ私ハアルマイト思フ、其人ニ向テ其非違ヲ摘發シテ、若クハ非違ナシト雖モ非違アルモノトシテ之ヲ彈劾シテ、而シテ其更迭ヲ期スルノ目的ヲ以テ、上奏其他ノ途ヲ執リ得ラルベキホドノ途ガ開カレテ居ルノデアアルマス、議院内ノコトデアアルマスカラ、言論ノ責任ハゴザイマセヌケレドモ、如何ニ國家ガ言論自由ノ範圍ト云フモノヲ廣ク認メテ、公ノ機關ノ侮辱ナドヲ咎メ立セヌ方針ヲ採ツテ居ルカト云フ一端ノ證據ニハ、供シ得ラル、コトダラウト私ハ思フノデアアルマス、而シテ本罪適用ノ事實ハ如何ナルモノニ最モ多クアリマスカ、公務員侮辱罪ト云フモノガアルカト申シタナラバ、是ハ富井君モ御承知ノ如ク多クハ巡查、稅務署ノ官吏、執達吏、斯ウ云フモノニ對シテノミ、是マデノ統計ハ有罪ノ裁判ヲ受ケタコトガ示サレテ居ルノデアアルマス、私ノ見ル所ニ依レバ巡查、若クハ稅務吏、若クハ執達吏ノ如キモノハ公務員ニハ勿論違ヒアリマセヌ、卑イカラト云フテ輕ンヅルト云フ趣意デアリマセヌケレドモ、卑イダケツレダケ頭ノ鈍イト云フコトハ疑フ容レナイ、卑イダケツレダケ、高イダケツレダケノ人ニ比シテ、感想識見ノ違ツテ居ルト云フコトハ疑ハナイノデアアルマス、即チ彼等ニ此利器ヲ授クルハ危險デアリマス、實例ハ是等ノモノガ官吏侮辱罪ヲ作ツテ居ルト云ツテ宜イ位デアアル、忍ベバ忍ビ得ラルルニ拘ラズ、官權ノ陰ニ隱レテ人民ヲ威嚇スル材料トシテ、侮辱罪ヲ巧ミニ製造致シテ居ルノデアアル、斯様ニ實例ガ示サレテ居ルノデアアルマス、ソレデゴザイマスケラシテ、時弊ノ上ニ於キマシテハ未ダ以テ公務員侮辱罪ヲ法文ノ上ニ規定シテ、之ヲ處罰シナケレバナラヌ要求ハ致サヌデアリマス、己レ人民ニ接スルコト最モ頻繁ナル公務員、巡查ノ如キ、稅務吏ノ如キ、執達吏ノ如キ者ハ、成ルベク溫言ヲ以テ之ニ接シ、假令侮辱ノ言語ヲ吐クモノガアリマシテモ、慰撫シテ自ラ彼ガ其言葉ヲ取消スト云フヤウナ態度ニ出デナケレバ民ハ悅服シマセヌ、斯クテコソ行政機能ノ圓滑ナル運用ガ出來ルモノト思フノデアアルマス、要スルニ公務員侮辱罪ヲ存スルハ、卑官小吏ヲシテ官權ノ下ニ威力ヲ恣ニセシムルトコロノ機會ヲ授ケルモノデアルト言ハナラヌ、時弊ハ此ノ如クニ論斷シ得ラル、ノデアアルマスカラシテ、此點ニ付キマシテモ本員ハ九十六條ハ削除シナケレバナラヌモノト信ジマス、而シテ同條第二項ノ公務所ニ對

スル侮辱ナドト云フコトニ至リマシテハ、私ハ寧ロ無意義デアルト存ジマス、公務所ニ對スル侮辱ハ全ク刑事法ノ理論ヲ無意義ニスルモノデアルト思フ、公務員侮辱ヲ罰スル所以ハ公機關ノ尊嚴ヲ保ツニアルノデアアル、公機關トハ何デアルト云ツタナラバ、公務所其物デアアル、然ラバ則チ公務所ニ對スル特段ノ侮辱罪アルベキ筈ハナイ、從ツテ其規定ハ意味ノ無イコトニナルノデアアラウト思ヒマス、内務省ハ看板ガ懸テ居ルカラ内務省デハナイノデアアル、外務省ハ看板ガ懸テ居ルカラ外務省デハナイノデアアル、即チ其公ナル機關ヲ運轉スベキ憲法、法律、若クハ命令ノ授ケタル權能ヲ有スル人ニ依ツテ運轉セララルベキモノデアアル、即チ外務省ハ侮辱スルト云フコトハ、官制上職務ヲ有スル總テノ統轄ヲナストコロノ外務大臣ノ侮辱ニナルノデアアル、又はト同様ニ内務大臣ヲ侮辱スル場合ニハ、同時ニ之ヲ統轄スル内務省ナル公機關ガ侮辱セララル、結果ニナルノデアアル、ソレ故ニ公機關ノ尊嚴ニ對スル公務員ノ侮辱ナルモノハ、性質上分ツベカラズ、公務所侮辱ト公務員侮辱トハ、決シテ併立スベキ謂レハ私ハナイト存ジマス、ソレカラ次ハ第八條デゴザイマセヌガ、是ハ別ニ反對ノ論ハゴザイマセヌマイト思ヒマスカラシテ、殊更ニ申上ゲマセヌガ、斯様ナ立法例ハ外國ニ澤山アルノデアアルマス、例ヘバ獨逸刑法ノ百十六條、和蘭刑法ノ百八十六條、芬蘭刑法ノ六條、澳大利刑法ノ百二十三條、那威刑法ノ百三十七條、其他ノ國ニモ斯様ナ規定ト云フモノガ備テ居ルノデアアルマス、甚シキニ至ツテハ騷擾ノ罪ト云フモノハ極メテ刑罰ノ重イモノデアアル、重イモノデアアルケレドモ、直チニ解散ヲシタナラバ、何等ノ罪ヲモ構成シナイノデアアルト云フコトヲ、筆太ニ札ニ書イテ貼出シテ、サウシテ解散ヲ勸告スルト云フコトサハ、刑法ニ掲ゲテアル國モアリマス、要スルニ斯様ナ犯罪ハ、小サイ國事犯ヲ見タヤウナモノデゴザイマシテ、餘リ憎イ犯罪デハナイ而シテ其多數集合致シマスルモノニ至リマシテハ、一種ノ野次馬デアリマシテ、面白半分ニ騷ケノデ、別ニ犯意ノアル譯デモナケレバ、目的ノアル譯デモナイノデアアルマスカラシテ、其刑ノ忍ルベキ所以、其解散ノ得策ナル所以ヲ彼ノ頭ニ理解スルマデ行居クヤウニシタナラバ、直チニ立去ルノデアアル、立去レバ罪ヲ構成スルコトナク、犯人ヲ作ラズシテ濟ムノデアアル、誠ニ犯人ノためニ利益ニシテ又國家ノためニ利益デアリマス、刑事政策ノ上乘ナルモノデアリマス、然ルニ改正案ノ如ク回數ヲ限ラヌデモ、周到丁寧ナル注意ヲ當該官吏ガ拂ヒシナレバ、宜カラウト云フ富井君ノ御論デゴザイマシタガ、是ハ事實ガ許サナイノデアアルマス、例ヘバ鑛毒事件ニ於テ二百有餘名ノ者ヲ勾引シ、日比谷事件ニ於テ二百有餘名ノ者ヲ勾引シ、結局得タルモノハ何モノカト云フタナラバ、多數ハ附和隨行、即チ解散ノ命令ニ從ハナカッタト云フ連中バカリデアッタノデス、若シ穩ニ溫和ニ解散ノ命令ヲ傳ヘタナラバ、直チニ解散シ得ベカリシ人種デアッタノデアアルマス、解散ト云フ一言ヲ二里モ隔リタル所ニ於テ放ツテ置イテ、一旦解散ノ發言ヲシタ以上ハ、三里先ニ往ツテ居ル者ニ行居キタルト否トハ吾不關焉ト云フコトガ、今日實際ノ裁判ノ筆法デアリマス、教ヘズシテ殺スノデアアル、鑛毒事件ハ此ノ如クニシテ罰セラレタノデアリマス、又日比谷事件ニ付イテハ解散ノ命令ヲ一度發シタケレドモ、大勢ノ者デアルカラ一々居カス譯ニハ往カナイカラ、柵ニ丸太ヲ結ツテ、之ヲ以テ解散ノ發言ニ代ヘタモノデアルト、檢事ハ臆面モナク論告ヲ致シテ居ルノデアアル、之ニ對シテ富井君ハ如何ナル感シヲ起サル、カ、人ガ惡ルイカラ、斯様ナ規定ガ出ルノデアアルカラ、人ガ善カッタナラバ斯様ナ規定ハ無クテモ宜イノデ

アルト申サレマシタガ、唯今申スヤウニ善クナイノデス、而シテ今日別段人が進歩シタトモ心得ナイノデアル、東京ニ居ル檢察ハ可ナリ良イ分デアル、可ナリ良イ分デアルノニ尙且此ノ如キ次第デゴザイマスカラ、田舎ノ連中ニナリマスレバ所謂輩ニ做フ、是コソ本當ノ輩ニ做フモノデ、即チ美シキ例デアルト云フノデ、何ヲスルカ分リハシナイ、修正文ハ書方ガ少シ錯雜ヲ來スヤウデゴザイマスケレドモ、各國トモ此點ハ同シ書方デアッテ、三回以上トカ數回以上トカ云フコトヲ書イテ居ルノデアリマスカラ、私ハ得テ起リ易キ犯罪ニシテ而モ助ケタキ犯罪ノ性質ヲ有スル本條ノ如キニハ、極メテ適當ナル修正ト存ジマス、何カ一種ノ行政機能ノ働キ見タ様ナコトヲ法文ノ上ニ現ハスヤウデハゴザイマスケレドモ、機宜ニ適シ實狀ニ適ヒタル修正デアルト信ズルモノデアリマス、ソレカラ次ハ百二十一條ト百二十三條デアリマス、是ハ公共ノ危險ト云フ文字ヲ加ヘタト云フダケノコトデゴザイマシテ、富井君ノ御説ノ如ク全ク放火ノ條文ト鈞合ヲ保ツト云フニ外ナラヌノデ、放火ニ斯様ナル文字ガゴザイマスカラ、溢水ノ方ニモ同様ノ文字ヲ用ヰテ、法文ノ體裁ヲ備ヘタト云フニ外ナラヌ故ニ、放火ノ方ニ公共ノ危險云々ト云フ文字ガ削ラレベキモノデゴザイマスナラバ、コチラモ削ツテモ一向差支ハナイト思フノデアル、即チ犯罪ハ總テ公共ノ危險ヲ生スベキ觀念ヲ以テ見ナケレバナラヌノデアリマスカラ、或ハ無クテモ宜イカモ知レヌ、併ナガラ放火ノ場合ニ於テ削ラレテ居ナイノデゴザイマスカラ是ト鈞合ハシムルト云フ趣意ニ於テ立法上文字ノ整理ヲシタノデアリマス、是以外ニハ何等ノ理由モ無イノデゴザイマス、ソレカラ遡テ百二十條ノ修正ハ本員一個ノ議論ト致シマシテハ異議ハゴザイマスケレドモ、今ハ述ベマセヌ、是ハ要スルニ立法ノ主義ヲ明確ニシタイト云フニ外ナラヌノデス、即チ刑罰規定ト云フモノハ一切裁判主義ヲ許サヌ、刑罰規定ハ悉ク法律主義ニ依ルベキモノデアルト本員ハ信ズル、輕キ犯罪ニ付イテモ一年以下ノ懲役ニ處ス、或ハ六箇月以下ノ懲役ニ處スト云フガ如ク、法律主義ニ規定シタルノニ重キ犯罪而モ死刑ニ迄處セラルベキ罪ニ對シテ「處スルコトヲ得」ト云フガ如キ裁判主義ヲ取ルコトハ甚ダ穩當デアルマイ、斯ウ云フコトカラ致シマシテ本文ノ修正ヲシタノデゴザイマス、私ハ固ヨリ個人トシテハ別段ナル意見ヲ有シテ居リマスガ、衆議院ノ全體ハ其主義ニ於テ決定致シタノデアリマス、裁判主義ヲ改メテ法律主義ニ爲サントスルノ修正ニ外ナラヌノデアリマス、此修正ハ却テ刑ガ重クナツタカノ嫌ハゴザイマスガ、ソレハ姑ク措キ、主義ダケハ此方ガ一貫スルダラウト信ジマス、ソレカラ次ハ百三十五條ニ「故ナク」ト云フ文字ヲ加ヘタノデアリマス、百三十四條、百三十二條、百三十一條等ノ例ヲ追フタニ外ナラヌノデアリマス、富井君ノ御説トシテ餘程此點ニ付イテ窮セラルタル不思議ナル意見ヲ拜聽致シマシタ、富井君ニモアルマジキ不思議ナル御意見ヲ拜聽致シマシタ、ソレハ第百三十四條ト云フ隣ノ條文ニ「故ナク」ト云フ文字ガ冠セタルカラ、次ノ條文ニハ無クテモ前ノ條文ニアルカラ有ルトシテ讀メルモノデアルト云フ、奇怪ナル御説ヲ承ツタノデゴザイマス、併シソレナラバ百三十四條ノ「故ナク」ト云フ隣ノ百三十二條ニモ其又前ノ隣ノ百三十一條ニモ「故ナク」ト云フ文字ガアルノデアリマスカラシテ、「故ナク」ト云フ文字ヲ前條ノ省略トシテ御論ハアマリヒドイ論デアルト信ジマス、而シテ此處ノ「故ナク」ノ文字ハ文字ノ整理ニハ似テ居リマスケレドモ、又理由モアルノデス、此三文字ヲ加フルニ依ツテ明ニ法文ノ運用ニ疑ヲ貽サヌコトニナルダラウト思フ、獨逸刑法ナドニハ「權利ナクシテ」ト

云フヤウナル文字ガ書イテアル、而シテ此條文ハ屢、爭ノ起ルベキ關係ヲ有シテ居ルノデゴザイマスカラ、ヤハリ權利ナクシテト云フ意味ニ於テ「故ナク」ト云フ文字ヲ書クト云フコトハ、他ノ條文ニスル「故ナク」ト云フ文字ヲ書クヨリハ甚ダ必要デアルト信ズルノデアリマス、最後ノ條文ニ百三十三條ノ但書ノ削除デゴザイマスガ、是ハ斯ウ云フ理由デゴザイマス、此但書ヲ存在セシムルト云フト事實ハ公務員侮辱ノ體刑ヲ復活スルコトニナルト氣遣フノデス、斯ウ云フ理由デゴザイマス、公務員侮辱罪ハ全刑トシテ存在ヲ致シテ居ル而シテ一ツノ事實ニ付イテ或ル點マデハ公務員侮辱トシテ成立シ、或ル點マデハ公務員其人ニ對スル名譽毀損罪ニナル、此分界ガ甚ダ立チ惡イト思フ、左様ナル場合ニ於テ上司ノ請求ニ依テ告訴ヲ爲シ、採テ裁判所ガ判斷スルトキハ上司ノ請求ニ重キヲ置イテ、兩者ノ分界ヲ紊リ、實ハ全刑ニシテ足ルベキ侮辱罪ニ對シテ體刑ヲ加ヘタサノアマリ、名譽毀損罪ニスルト云フ——若クハ二罪ヲ科スルニ至ルデアラウ、斯ウ云フ憂懼ヨリ削ルト云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、元來名譽毀損罪ハ申告罪デアッテ、私和ヲ許スベキ性質ノモノデゴザイマス、而シテ此間名譽ヲ毀損セラレタル被害者以外ニハ何等ノ權能ヲ有スベキ性質ノモノデハアルマイト考ヘル、被害者本人ハ更ニ名譽ヲ毀損セラレタルト信ゼザルニ拘ラズ、上司自ラ被害者ノ心事ヲ忖度シテ汝毀損セラレズト云フト雖モ、我ハ毀損セラレタルモノト推定ス、汝宜シク告訴スベシ、汝告訴セザレバ吾レ告訴スベシト云フヤウナ事柄ガ出來マシタナラバ、法律ガ被害者ヲ認メヌコトニナル、又申告罪ノ意義ヲ沒却スルト同ジコトデアル、而シテ上司ノ請求ニ基ケル告訴アル以上ハ私和ニ依ツテ取下ゲル、譯ニモ參リマスマイ、私ハ之ニ依ツテ申告罪ノ根本主義ヲ沒却スルモノト存ジマス、本員ノ見ル所ニ依レバ官吏侮辱罪ヲ削ルトハ政府甚ダ之ヲ喜バン、即チ氣運ハ左様ニナツテ居ル、衆議院ノ歴史モ左様ニナツテ居ル、併ナガラ之ヲ削リタル以上ハ名譽毀損罪ニ依テ一種特別ノ官吏侮辱罪ヲ認メラレ、而モ體刑復活セラレタリト喜ビハシナイカト憂フルモノデアル、本員ハ斯様ナル邪推ヲ懷イテ居ル、信用スベキ政府ニ於テ左様ナコトハゴザイマスマイケレドモ、本員ハサウデハアルマイカト云フコトヲ深ク懸念シテ居ル、恐クハ二百三十一條以下ノ法文ガ事實トシテ法廷ニ現ハレタル場合ニ於テハ、今日削ラレタル侮辱罪ト云フモノハ此名譽毀損罪ニ依ツテ罰セラルベキ判例ノ多クガ作ラル、デアラウト憂慮スル、誠ニ左様ナル危險ノ消息ヲ齎ラシハセヌカ、事實ハ齎ラサズトスルモ、消息ハ必ズ齎ラシ易キ關係デアリマス、ドウカ侮辱罪削除ノ影響ヲ本條ニ及サヌヤウニシテ貫ヒタイ、序ニ申シテ置キマス、但書ハ削ラザルヲ得ズト主張スル理窟モ此邊ニアッテ存スルノデアリマス、要スルニ衆議院ノ所見ハ右様ナ次第デゴザイマス、盡サマル點ハ上院諸君ヨリ御質問ガゴザイマシタナラバ十分ニ御答致シマセウト存ジマス、大要本院ニ於テ貴族院ノ修正ニ反對シ本院修正ノ意見ヲ固執スル所以ハ此ノ如キ次第デアルノデアリマス、而シテ本院ハ貴族院ノ院議ヲ重シマシテ出來得ル限リノ讓歩ヲ致シマシタガ故ニ、幾多ノ修正ニ付キマシテハ、一切御讓歩ヲ致シテ居ルノデアリマス、即チ貴族院ノ修正案ニ關シマシテハ四十二條以外ニハ盡ク歡迎ヲ致シテ居リマス、殊ニ猥褻ノ下ニ「姦淫」ノ文字ヲ加ヘ、或ハ情狀ニ因リノ下ニ「ルコトヲ得」ト云フコトヲ加ヘラレタナドハ、餘程意味ノアル妙修正デアッテ尊敬ヲ拂ッテ居リマス、唯一ノ未遂犯ノコトダケハ上院ノ修正其當ヲ得ヌモノト存ジマスカラ、御讓歩ヲ請ヒ其他ノ本院

修正案御賛成ヲ願ヒタイト存ジマス、本員モ富井君ト同ジク本案ノ成立ヲ最モ熱心ニ希望スル一人デゴザイマスルノミナラズ、改正刑法案ニ關シマシテハ富井君ト同ジク本員モ輕カラズ責任法律取調委員トシテ有シテ居ルノデゴザイマスカラシテ、其通過ヲ圖ルコトハ御同感デアリマスケレドモ、最早讓歩ノ餘地ナシ、ドウカ貴族院ノ修正中讓ルベキ點ハ唯今マデ讓リマシタ程度ニ於テ忍耐セラレ、又本院ノ修正シタル條項ノ數ハ略々貴族院修正ノ數ト同ジ位デゴザイマスルカラシテ、御教考ノ上兩院ノ主張ヲ公平ニ判斷セラレ、成立センコトヲ希望ノ至ニ堪ヘヌノデアリマス、甚ダ長ク相成リマシテ恐縮ノ至リニ堪ヘマセヌ

○議長(磯部四郎君) チョット御諮り致シマスガ、モウ別段ニ御議論ノ點モナカラウト思ヒマスルノデ、成ルベクハ茲デ丁度交渉委員ト云フヤウナモノヲ設ケラレマシテ、サウシテ少數ノ御方デ御交渉下スツタ上、午後引續イテ協議會デ纏メトラドウカト考ヘマスガ、如何デゴザイマス、御異存ガナケレバ御三名カ谷澤君ノ四名……

○村田保君 願クハ三名位……

○議長(磯部四郎君) 三名ト云フコトニ決定致シマシテ宜シウゴザイマスカ

(異議アリマセヌト呼フ者アリ)

○議長(磯部四郎君) サウ致シマス、其指定方ハドウイフ風ニ……

○村田保君 是ハ各議長デ願ヒマス

○議長(磯部四郎君) ソレデチヨット——私ノ方ハ直キ選定致シマス、私ヨリ指名致シテ宜シウゴザイマスカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(磯部四郎君) ソレデハ元田君、奥田君、花井君ノ三名ニ致シマス

○議長(侯爵黒田長成君) 貴族院ノ方ニ於キマシテハ村田君、富井君、一木君、此三名ヲ煩ハシマス

○議長(磯部四郎君) ソレデハ午後引續イテ尙又御交渉ノ結果ノ報告ヲ受ケマシテ、直チニ協議會ヲ開キマス、左様御承知ヲ願ヒマス

午前十一時五十七分休憩

午後一時三十分開議

○議長(磯部四郎君) ソレデハ午前二引續イテ會ヲ開キマス

○奥田義人君 午前ノ協議ノ結果、交渉委員ガ出來マシテ、其交渉委員ノ一人ニ私モ指名サレマシタ、就イテハ先以テ衆議院側ノ委員ガケテ協議ヲ致シマシタ、其結果竝ニ貴族院側ノ委員ト協議ヲ致シマシタ結果ヲ大要御報告致シマス、此衆議院議員ノ修正スルトコロハ多クアリマシタケレドモ、諸君其中ニ於テ最モ重キヲ置キマシタ點ハ、諸君御承知ノ通り死刑廢止ト、ソレカラ未遂罪ノ條項デアリマス、又貴族院ノ方ノ側モ同ジク此兩點ニ於テ最モ重キヲ置カレテ居ルガ如ク信セラレマシタノデ、此二點ハ申スマデモナク主義ノ爭デアツテ、何所マデモ衆議院側ニ於テハ不同意デアルケレドモ、若モ此二點ニ付イテ衆議院側ガ強テ之ヲ主張致スコトニナリマス、此刑法案ガ遂ニ不成立ヲ見ルノ虞モアリマス、甚ダ憂慮ニ堪ヘマセヌ、故ニ協議ノ結果、此二ツノ點ニ付イテハ貴族

院ノ主張ニ御譲リスルコトニ致シマシタノデ、其以外ノ修正ノ點ハ貴族院ノ方ヨリ衆議院ニ御譲リヲ願ヒタイ、ソレデ御協議ガ纏ルコトナラバ、圓滿ニ此協議會ヲ結了ラ告ゲルヤウニシタイト云フ趣意ニ、衆議院側デ纏リマシタニ依リマシテ、先刻貴族院ノ交渉委員ノ御方ニ其事ヲ御報告致シマシタコロガ、交渉委員ノ御方モ自分共ケニ於テハソレニ同意シヤウ、斯ウ云フコトデ雙方ノ交渉委員ノ議ガ一致ヲ致シマシタ、就キマシテハ折角此所マデ運シテ來マシタモノデアリマスカラシテ、ドウカ此趣意ニ基イテ全會一致ヲ以テ雙方圓滿ニ此協議ヲ結了ラ告ゲンコトヲ希望致シマス

○村田保君 私ハ貴族院ノ方ノヤハリ交渉委員ノ一人デアリマスガ、唯今ノ奥田君カラ申サレマシタ如キコトヲ尙他ノ委員トモ一應協議致シマシタコロ、固ヨリ此刑法ハ貴族院ニ於キマシテハ、政府ノ原案デハ全然是認ラシマシテ、成ルベク修正ヲ加ヘナイコトヲ努メテ、唯僅々ナル修正デ決議致シタルコトデスカラ、一體ハ全部何所マデモ衆議院ノ修正ニ反對ト云フコトヲバ、先日モ議場ニ於キマシテ滿場一致ヲ以テ議決シテ居リマスルノデスカ、協議會ト云フコトニナリマスレバ、サウ何所マデモ固執スルト云フコトハ、協議會ヲ設ケラレタ趣旨ニモ悖リマスカラ、此際ハ讓歩出來ル限リハ何所マデモ讓歩シヤウト云フコトデ、段々委員會ニ於テ攻究致シマシタ、唯今ノ四十三條ノ未遂罪、ソレカラ七十七條ノ内亂ニ關スル罪等ハ、最モ貴族院ニ於キマシテハ重キヲ置イテ居リマシタ件ヲバ、衆議院交渉委員ノ諸君ニ於キマシテ御讓歩下サルコトニナリマスレバ、ソレニモ尙吾々ガ不同意ヲ表スルト云フコトニナリマス、實ニ刑法改正ノ問題ト云フモノハ帝國議會始メ今日マデ引續イテ居リマス宿題デ、今日マデ是非改正シナケレバナラヌト云フコトニナリマシタノハ、ナカク容易ナラヌコトデ、若シ之ガタメニ兩院ノ意見ガ、僅カノコトノ衝突ノタメニ不成立トナルコトニナリマスレバ、實ニ國家ノ不幸ヲ來スコトト存ジマスカラ、ソレデ唯今吾々委員ニ於キマシテハ、衆議院ノ委員諸君ニ於カレテ此二件ヲ御讓歩下サルコトナラバ、吾々モ其他ノ箇條ノ修正ハ全然御同意ヲ表スト云フノデ、吾々ハ滿場一致ヲ以テ之ニ御同意ヲ表スルコトニ極メマシタ、此段御報告ヲ申シマス

○議長(磯部四郎君) 唯今雙方ヨリ御陳述ニナリマシタ點ニ付イテ別段御異議ガゴザイマセヌケレバ、滿場一致ヲ以テ御決議ナランコトヲ希望致シマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(磯部四郎君) ソレデハ總テ御異議ガナイモノト認メマス、其成案ハ

刑法改正案兩院協議會成案

第四十三條及第七十七條ハ貴族院議決案ノ通り其他ハ衆議院議決案ノ通トス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(磯部四郎君) 滿場一致ヲ以テ決議ニナリマシタ、是デ散會致シマス

午後二時三十六分散會